

会報

国鉄闘争全国運動

国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

第7号

2010年12月18日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局
千葉市中央区要町2-8 DC会館内
TEL 043-222-7207
nationwidemovement@yahoo.co.jp

1047名解雇撤回、外注化阻止

全国運動の大飛躍で新しい労働運動を！

呼びかけ人会議で2011年方針決まる

今号では、12月9日、東京において行われた国鉄闘争全国運動呼びかけ人会議について報告します。会議には13名の呼びかけ人が参加し、今後の闘いについて活発な議論を行い、具体的方針を決定しました。

まず、山本弘行・動労千葉を支援する会事務局長からこのかんの経過報告が行われました。その後、討論の冒頭に動労千葉、関西生コン支部、港合同の3組合から報告がなされました。

◎田中康宏(動労千葉委員長)

6・13から半年間がんばってきて、11月集会をやってあらためて全国運動をやっているよかったです。全国運動がよ

うやくスタートラインに立った上で、これからどういう発展をしていくのか。和解をめぐる起きている情勢を言えば、6・28に最高裁で和解の調印を行いました。和解金は全くふり込まれていません。和解金の配分をめぐる

また、今JRでは賃金制度を変え、成果主義賃金にするという話が出ています。国労本部は「これまで国労は無視されているが今回は東労組と一緒に提案された」ことを成果だといっている。また、連合に行くという

また、今JRでは賃金制度を変え、成果主義賃金にするという話が出ています。国労本部は「これまで国労は無視されているが今回は東労組と一緒に提案された」ことを成果だといっている。また、連合に行くという

また、今JRでは賃金制度を変え、成果主義賃金にするという話が出ています。国労本部は「これまで国労は無視されているが今回は東労組と一緒に提案された」ことを成果だといっている。また、連合に行くという

また、今JRでは賃金制度を変え、成果主義賃金にするという話が出ています。国労本部は「これまで国労は無視されているが今回は東労組と一緒に提案された」ことを成果だといっている。また、連合に行くという



12月3〜4日、検修外注化阻止で動労千葉がストライキ

また、今JRでは賃金制度を変え、成果主義賃金にするという話が出ています。国労本部は「これまで国労は無視されているが今回は東労組と一緒に提案された」ことを成果だといっている。また、連合に行くという

また、今JRでは賃金制度を変え、成果主義賃金にするという話が出ています。国労本部は「これまで国労は無視されているが今回は東労組と一緒に提案された」ことを成果だといっている。また、連合に行くという

また、今JRでは賃金制度を変え、成果主義賃金にするという話が出ています。国労本部は「これまで国労は無視されているが今回は東労組と一緒に提案された」ことを成果だといっている。また、連合に行くという

また、今JRでは賃金制度を変え、成果主義賃金にするという話が出ています。国労本部は「これまで国労は無視されているが今回は東労組と一緒に提案された」ことを成果だといっている。また、連合に行くという

今後の行動提起
1) 「2.16を忘れるな! 1047名解雇撤回 2.16集会(仮)」
日時: 2011年2月16日(水) 18:30~
場所: すみだ産業会館(東京都墨田区江東橋3丁目9番10号丸井ビル8階/JR錦糸町駅から徒歩1分)
呼びかけ: 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回を支援する全国運動
2) 「国鉄闘争全国運動」活動者交流会の開催
日時: 2011年2月16日(水) 10:00~17:00
場所: ティアラこうとう(東京都江東区住吉2-28-36 地下鉄 都営新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉」駅下車徒歩4分)
呼びかけ: 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回を支援する全国運動
3) 6月集会の開催について
2011年6月5日(日)、日比谷公会堂にて国鉄集会を開催することを決定しました



裁判員制度廃止の銀座デモ(12月10日)

国鉄支援の弁護士運動始まる

生きていけない低賃金を強要され、「物品」扱いで「調達」の対象とされる非正規労働者、リストラにおびえ物言えない環境に苦しむ正規労働者。どちらの立場でも、切り離され孤独である限り、希望は見えません。そして、東アジアにおける競争状態の発現。ひりひりするような現実の中、左にせよ右にせよ、時代と切り結ばなければ生きられない、日々選択を迫られる時代がやってきているように思います。

非正規雇用の蔓延、既成労働者の闘う労働者への敵対という切っけをうつつとどうにか。全国各地でやたらどうにか。全労働者の陣営に引き込んでいく。

現在の状況のスタート地点には「国鉄分割民営化」がどくんと存在します。あれ以来、選別解雇する責任を誰もとらないやり口が「国鉄方式」と呼ばれ、目障りな労働者を解雇するために民営化が効果的であることが公知の事実となりました。その出発点を検証するという意味からも、改めて、国鉄問題の本質が問われるべきです。

弁護士は、忙しさと多種多様な事件との関わりの中で目前のことに気力・体力を吸い取られがちだし、弁護士激増攻撃の中で、横のつながりも途絶えがち

か何とか言っ小玉さんの停職処分は正しかった、と鉄建公団の代理人が言い出した。こちらは停職処分がそもそも無効だという争いを同時に起こした。そこから始めようじゃないかと。次回は4月です。じっくり闘ってやろうと思っっています。

◎金元重(韓国労働運動史研究家) 国鉄闘争を支えてきた人たちが今回の和解を手放しで良かったと考えているのか? 今後の運動についてどう考えているのか? これがいいと思っ

もって手をうつとどうにか。全国各地でやたらどうにか。全労働者の陣営に引き込んでいく。切っけをうつつとどうにか。全国各地でやたらどうにか。全労働者の陣営に引き込んでいく。

◎鈴木達夫(弁護士・法政大学弾正裁判所長) 国鉄闘争団の小玉さんの裁判では、鉄建公団の代理人がいた放言をいじった。「小玉さんは朝の体操に遅かった」とか並べ立てて「停職処分は正しかった」と。これは「しめた」と思った。事実かどうか、処分は正しかったのかどうか、一つひとつ争い

◎中村仁(労働千葉協議会) 国鉄分割・民営化そのものについて考えないといけない。分割・民営化によって今の労働者の現実がある。今回の和解はこれを認めること。多くの青年は非正規雇用におとめられてい

12月2日、鉄連機構訴訟控訴審の再開第2回期日にあわせ、早朝の裁判所前宣伝行動。10時には鉄建公団訴訟原告の石崎・羽廣両氏と弁護士が最高裁への上告理由補充書と3原告の各陳述書提出へ、小玉さんは高裁へ署名提出行動にたった。

をよぼした。動労千葉・動労水戸・動労西日本からは、11月闘争の大勝利を確認しながら「ダイ改ストで外注化阻止の大決戦に突入する」「職場の力関係を

センター発令から90年4月二度目の解雇に至る、労働者の誇りを奪う攻撃に対して非妥協で闘う怒りに充ちた18冊の大学ノートの日記を、4万字に凝縮したものの「絶対に会わぬ」と命令

全国運動会員が1000人突破

会員口数 1204 (口) 12月17日現在

<内訳> 国鉄闘争全国運動 134
 動労千葉を支援する会 905
 「共に闘う国労の会」 165

各地域、産別、職場で全国運動の組織が結成されています(順不同)

- ◇動労千葉を支援する会(東京南部、東京中部、東京西部、東京北部、東京三多摩、千葉、熊谷、群馬、静岡、長野、福島、新潟、広島、岡山、山陰、東交、習志野、横浜自治労、三浦半島地区教組、仙台市役所)
- ◇国鉄闘争全国運動(九州、東京東部の会、神奈川、徳島、岡山)
- ◇「共に闘う国労の会」
- ◇闘う国鉄労働者を支援する弁護士運動

※組織化に向けたリーフが完成しました。注文は事務局まで。

指名解雇強行のための不当処分を暴き尽くす 第2回鉄連機構控訴審闘争

12月2日、鉄連機構訴訟控訴審の再開第2回期日にあわせ、早朝の裁判所前宣伝行動。10時には鉄建公団訴訟原告の石崎・羽廣両氏と弁護士が最高裁への上告理由補充書と3原告の各陳述書提出へ、小玉さんは高裁へ署名提出行動にたった。